

起業アイデアの新たなコンテスト方式

～Facebook活用によるアイデアの進化を目指して～



明治大学 商学部

有吉奎人

安齊友希

飯嶋大輝

日本経済の現状

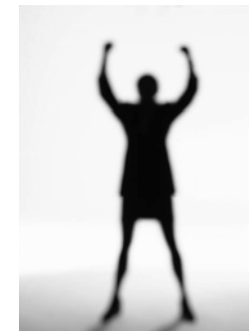
バブル経済崩壊



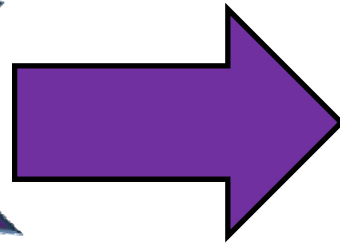
「失われた20年」「停滞感」



「イノベーションの必要性」



起業の効果

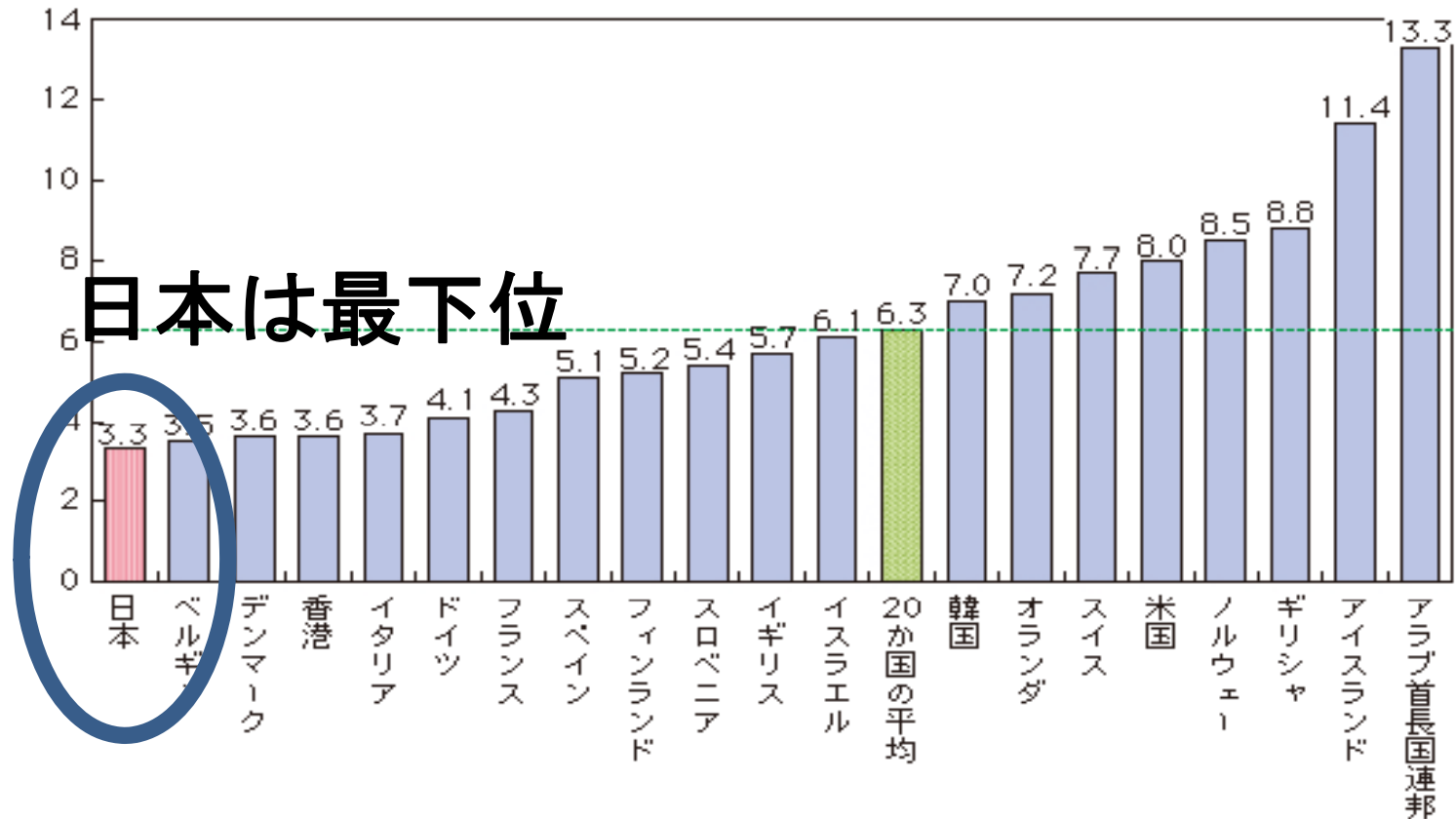


経済の新陳代謝

イノベーション促進の
原動力

経済成長のエンジン

日本の起業の現状





- ※ 起業家の割合 (TEA (Total early stage Entrepreneurial Activity)) : 18歳から64歳までの人口に占める起業活動を行っている者 (起業準備中の者および起業後3年半以内の者) の割合
- ※ 出典のレポートにて、イノベーションけん引型経済 (Innovation-Driven Economies) と定義される20か国の値を掲載

※平成22年版 情報通信白書 (主要国における起業家の割合):

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h22/html/md322100.html> : 情報最終確認日 2012年11月19日)より引用

学生起業の現状

学生起業

- ・とても困難なもの、普通にはできない 
- ・法整備が進み、起業しやすい環境が整っている 

全体起業 160万人 → 学生起業 1100人

(日本)

「オン・ザ・エッジ」 堀江貴文(東京大学在学中)

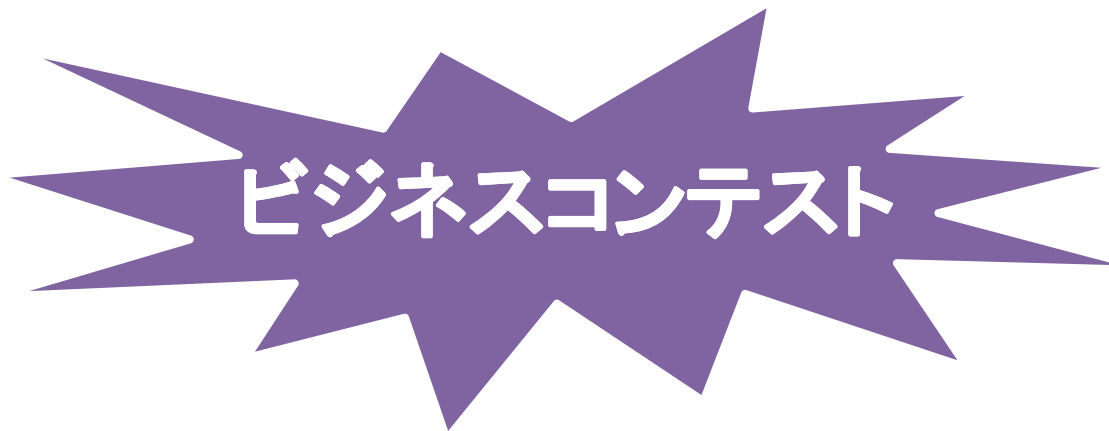
「ぴあ」 矢内廣(中央大学在学中)

(海外)

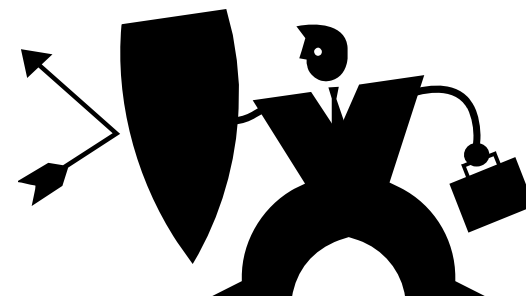
「マイクロソフト」 ビルゲイツ(ハーバード大学:休学)

ビジネスコンテスト

学生の起業支援として

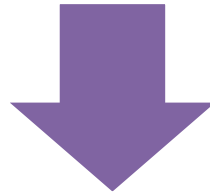


学生が、アイデアを持ち寄りその完成度や
アイデアの独自性を競うもの



ビジネスコンテストとコンテスト方式

- 応募されたアイデアを、特定の審査員が審査、良いアイデアを決定する。



問題が存在

コンテストの論理

コンテストとは

数多あるアイデアからいくつか少数のアイデアを選び出す

採用されるのは少数のみ

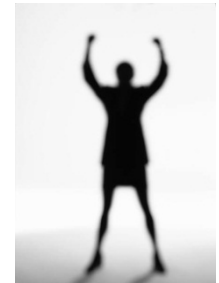
選ばれなかったアイデアの存在

活かされることはない



問題点

- ・「**特定**の審査員」 → 意見の幅が狭い
- ・「**時間の幅**」がない → 改善できない
- ・「他の人の**意見**」 → いいアイデアを
取り入れられない
- ・「敗者**切り捨て**」 → どんなに良くても
活かされない





Facebook

実名登録制のSNS

ネット上のバーチャルな人間関係ではなく、
実際の人間関係の延長線

『人とのつながりを深める
コミュニケーションツール』

- ・写真や動画のアップ
- ・文章による近況報告など



Facebook

「コメント」機能

コメント機能とは・・・

- ・文章による近況報告
- ・写真や動画

→これらに対する意見や感想



Facebook

「いいね！」



写真やページなどのコンテンツに
共感・評価する際のボタン

一人一回で、取り消しも可能



Facebook

コンテストにおける「コメント」と
「いいね！」の使い方

コメント機能

→アイデアへの質問や意見

いいね！

→アイデアやコメントを評価する
ための投票ボタン



Facebook

Facebookのメリット

実名登録制

- ・責任のある意見
- ・意見の発信者の特定

ネット上のつながり

- ・いつでもどこでも気軽に交流可能

Facebook型コンテスト in University

時間の幅



- ・Facebook上でアイデア募集、合体
- ・アイデアの公開
- ・ページにコメント
- ・アイデアの進化
- ・優勝アイデアの決定

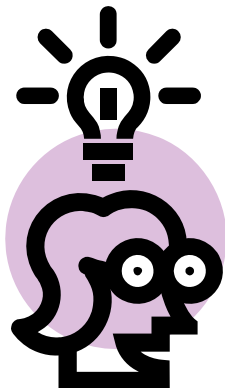


「集合知」の形成

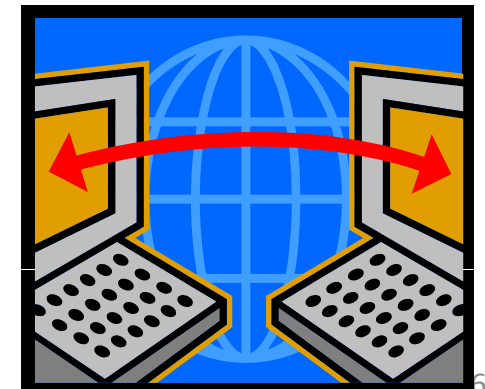
多数のユーザが参加し、情報を提供



その蓄積が全体として巨大な「**集合知**」を形成
イノベーション 新たな価値の創造



WEB2.0的概念



Facebook型コンテスト in University

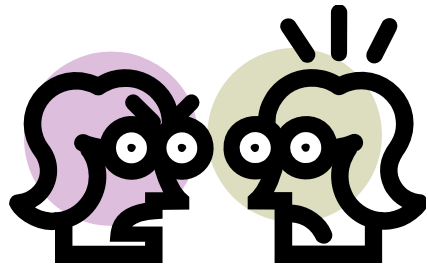
- ・Facebook上でアイデア募集

- ・アイデアの公開

- ・ページにコメント

- ・アイデアの進化

- ・優勝アイデアの決定



もし明治大学に 「Facebook型コンテスト in University」 があったら

主演(応募者)

明大生A

ナレーター

・・・ 有吉奎人

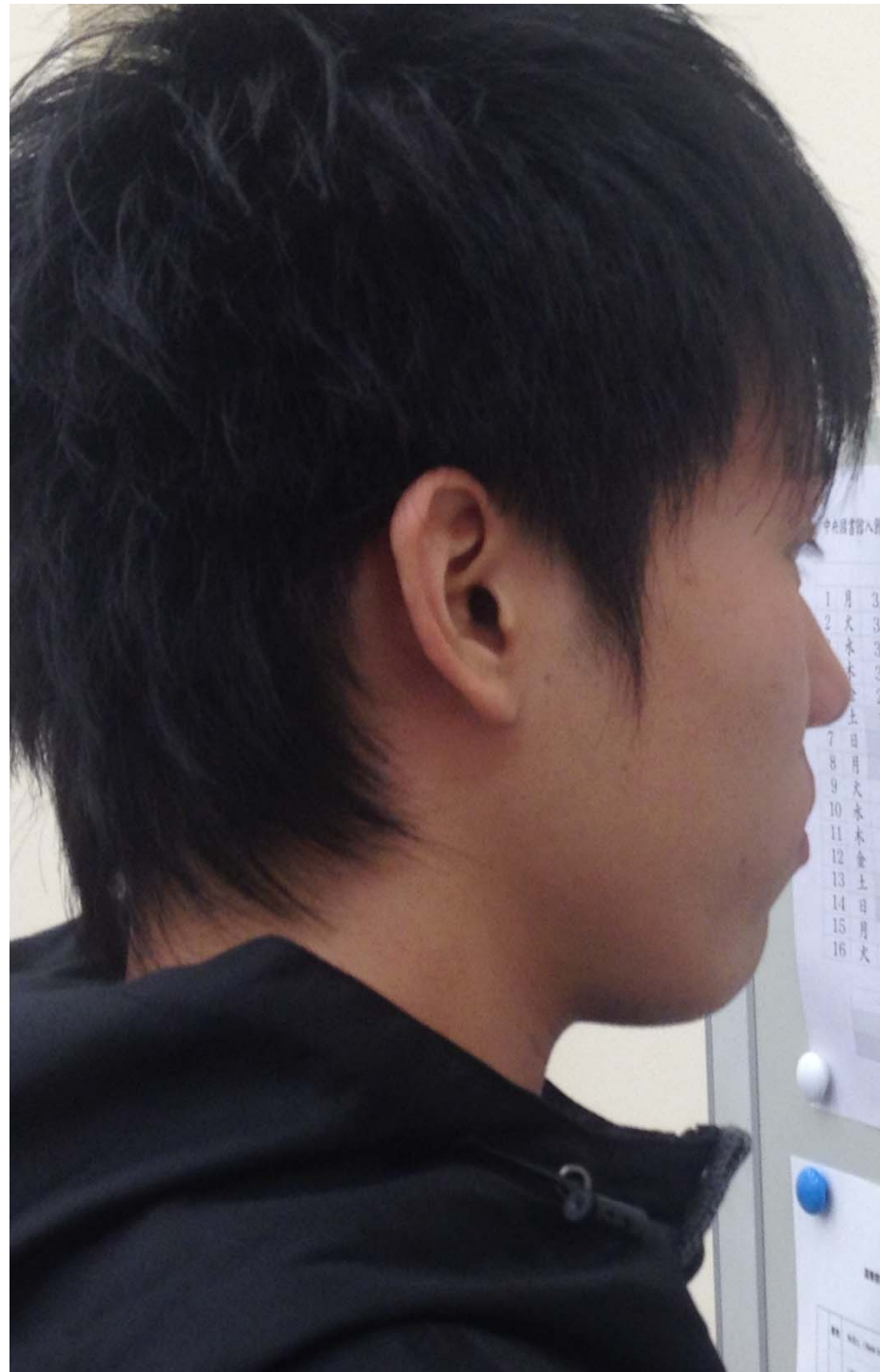
・・・ 飯嶋大輝

・・・ 安齊友希



A young man with dark, spiky hair is shown in profile, looking towards the right. He is wearing a black hooded jacket over a grey plaid shirt. His arms are crossed. A large, orange-outlined speech bubble is positioned to his right, containing the Japanese text '起業したいな...'. The background is a plain, light-colored wall.

起業したいな...



中央図書館入館者統計 2012年
単位 (人)

10月			
1	月	3,240	17 水 3,799
2	火	3,486	18 木 3,770
3	水	3,821	19 金 3,340
4	木	3,555	20 土 1,459
5	金	2,877	21 日 1,231
6	土	1,317	22 月 3,763
7	日	529	23 火 3,087
8	月	2,999	24 水 3,819
9	火	3,395	25 木 3,421
10	水	3,991	26 金 3,092
11	木	3,743	27 土 1,540
12	金	3,451	28 日 628
13	土	1,389	29 月 3,418
14	日	691	30 火 2,440
15	月	3,447	31 水 2,440
16	火	3,366	合計 84,104

平日平均 3494
土曜平均 1426
休日平均 1216



明治大学 起業コンテスト

明治大学 起業コンテスト

2012年11月、明治大学において学生による起業コンテストを開催し、優秀なアイデアを募集しました。応募いただいたアイデアの中から、多岐にわたる分野から選ばれたアイデアを、本大会で発表しました。

1. 学生起業コンテスト
 学生が中心となって、社会課題を解決するためのアイデアを募集しました。応募いただいたアイデアの中から、優秀なアイデアを選定し、本大会で発表しました。

2. 社会起業コンテスト
 社会課題を解決するためのアイデアを募集しました。応募いただいたアイデアの中から、優秀なアイデアを選定し、本大会で発表しました。

3. 社会起業コンテスト
 社会課題を解決するためのアイデアを募集しました。応募いただいたアイデアの中から、優秀なアイデアを選定し、本大会で発表しました。

明治大学 起業コンテスト

明治大学の学生のみなさんへ

20xx年○月△日、明治大学において学生による起業コンテストを行います。
起業を目指す方、今までにはない、ビジネスプランを考えている方、まだ上手くまとまってはいないが
こんなビジネスモデルはどうか、などと考えているみなさんぜひご応募ください。

<ビジネスコンテストの特徴>

- ・審査員は明治大学の全学生・全教授です。
- ・コンテストは Facebook 上の Meiji University 内のグループ上にて行います。
* 参加するには@meiji.ac.jp / Kisc.meiji.ac.jp のメールアドレスが必要です
- ・コンテストで優勝した学生が起業する意思がある場合には起業資金(上限あり)が与えられます。
- ・実際に起業が成功して利益を出した場合には、審査員として参加した応募者以外の学生にはその利益に応じたリターンが与えられます。
- ・審査員には Facebook 上のコメント機能を使って、アイデアへの質問や提案をしてもらいます。

<内容>

- ・応募者はまず、Facebook 上にアイデアを掲載してもらいます。
- ・審査員は、そのアイデアに対して、質問や改善案などのコメントを行います。
- ・コメントが良いと思えば、そのコメントに「いいね！」をもらいます。
- ・応募者は、コメントの質問への返信や、「いいね！」が多かったコメントの改善案を取り入れて、アイデアの内容を更新します。
- ・審査員は、期間内にアイデア掲載ページに「いいね！」で投票してもらい、最終的に一番「いいね！」が多かったアイデアが優勝となります。

<参加方法>

20xx年○月△日までに明治大学事務室へ申請に来てください。



Meiji University内のグループ



Meiji University内のグループ

Meiji Universityの最新情報をチェックしましょう

Meiji Universityに参加すると:

- ・ゼミやサークルなどの学校内のグループをさがすことができます。
- ・他のメンバーにメッセージを送信したり、他の人のグループに追加したりできます。

メールアドレスを入力...

@meiji.ac.jp

Meiji University内のグループ

～@(kisc)meiji.ac.jpのアドレス入力

明治大学の学生・教授のみ参加可能



外部の人間は参加不可能



起業コンテスト用ページ

Facebookページ



タイトル

基本データ

提案内容

メインページ



明治大学 起業コンテスト「学生スマホバンキング」

大学
スマホBanking

基本データ



いいね

提案内容



明治大学 起業コンテスト スマホバンキング

大学内に学生から小口でお金を集め、そのお金を使って学生に融資を行うシステムを作ろうと思います。

手順は

- ①大学内で学生用の銀行を作ります。
- ②その銀行に学生が小口で預金します。
- ③そのお金を使って学生に融資するという流れです。

これらをネットバンキングのようにネット上で行い、使うのは現金ではなくスマホを使った電子マネーを考えています。

いいね！・コメントする・シェア



明治大学 起業コンテスト スマホバンキング

学生は大学内のコンビニ(明治でいえば明大マート)などで小銭を使って決済する機会が多いですがその際に手持ちのお金が足りなくて困った経験があるのではないのでしょうか。

そんなときに役立つ学生スマホBankingを提案します。

いいね！・コメントする・シェア





明治大学 起業コンテスト スマホバンキング

大学内に学生から小口でお金を集め、そのお金を使って学生に融資を行うシステムを作ろうと思います。
手順は

- ①大学内で学生用の銀行を作ります。
 - ②その銀行に学生が小口で預金します。
 - ③そのお金を使って学生に融資するという流れです。
- これらをネットバンキングのようにネット上で行い、使うのは現金ではなくスマホを使った電子マネーを考えています。

いいね・コメントする・シェア



明治 三郎

あったら便利ですね！
学生が預金するメリットは他にありますか？

11月11日・15:11・いいね！

コメント



明治大学 起業コンテスト スマホバンキング

学生は大学内のコンビニ(明治でいえば明大マート)などで小銭を使って決済する機会が多いですがその際手持ちのお金が足りなくて困った経験があるのではないのでしょうか。
そんなときに役立つ学生スマホBankingを提案します。

いいね！・コメントする・シェア

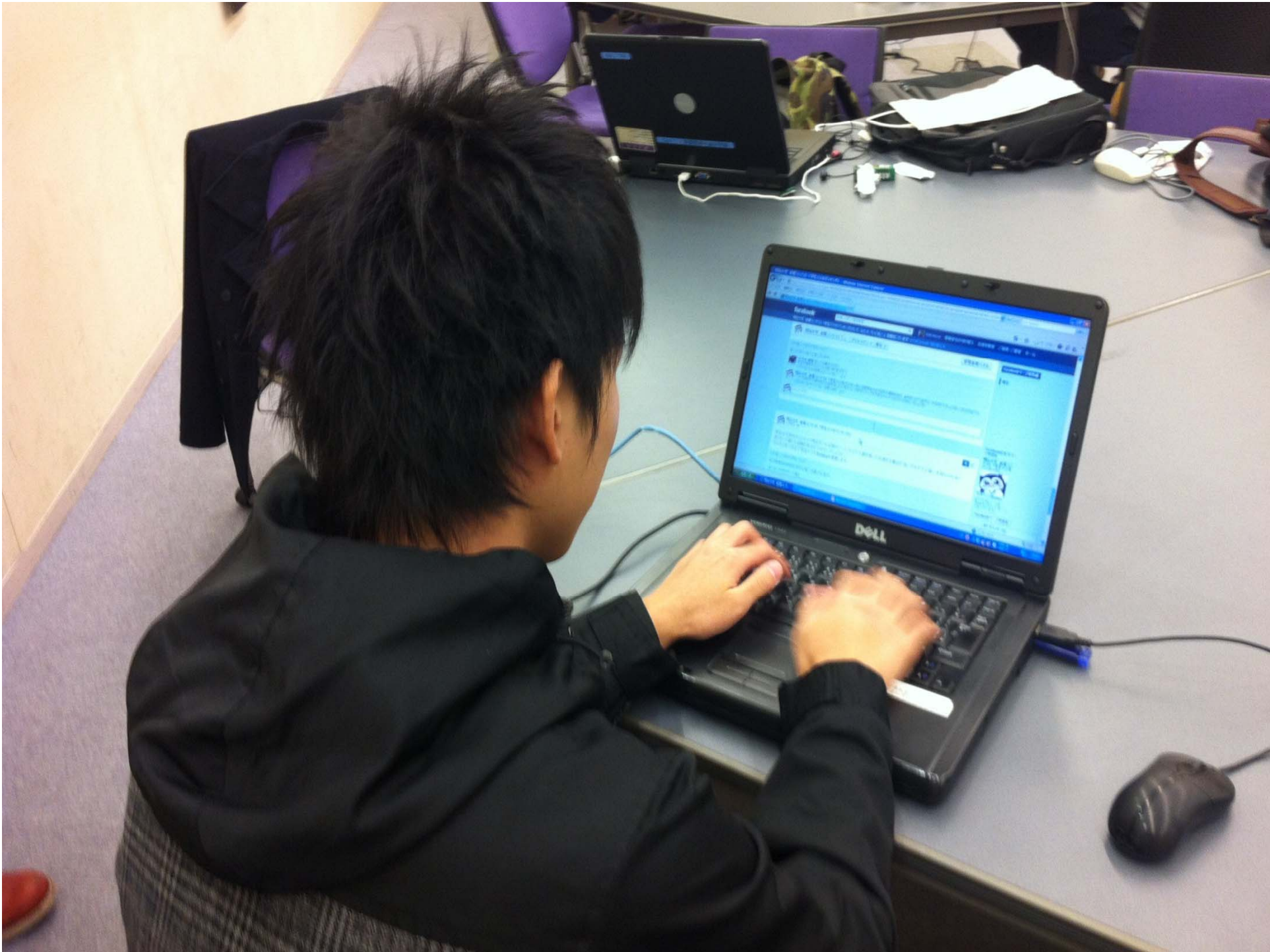


明治 二郎

大学の周りの飲食店と提携すれば、割り勘のときに面倒がかからないのではないのでしょうか？

例えば、人数で割った代金をあらかじめ計算して、そこから、自分の口座から引いていけば細かい小銭がなくても、きっちりと割り勘できます。

11月11日・17:20・いいね！・5





明治大学 起業コンテスト スマホバンキング

大学内に学生から小口でお金を集め、そのお金を使って学生に融資を行うシステムを作ろうと思います。

手順は

- ①大学内で学生用の銀行を作ります。
- ②その銀行に学生が小口で預金します。
- ③そのお金を使って学生に融資するという流れです。

これらをネットバンキングのようにネット上で行い、使うのは現金ではなくスマホを使った電子マネーを考えています。

いいね！・コメントする・シェア



明治 二郎

大学の周りの飲食店と提携すれば、割り勘のときに面倒がかからないのではありませんでしょうか？

例えば、人数で割った代金をあらかじめ計算して、そこから、自分の口座から引いていけば細かい小銭がなくても、きっちりと割り勘できます

11月11日・17:20・いいね！・5

返信



明治二郎様 コメントありがとうございます。大学内だけではなく、近隣の飲食店・本屋など学生が利用するであろう施設とも提携し、学生とお店がwin-winの関係になるようにしていこうと思います。

11月12日・10:30・いいね！



明治大学 起業コンテスト スマホバンキング

更新

みなさんのコメントを受け、ページを更新いたしました。
ご意見・ご感想をコメントにてお願いいたします。

いいね！・コメントする・シェア



明治大学 起業コンテスト スマホバンキング

新提案内容

- ①大学内で学生を会員とした金融機関(信用金庫的な組織)を設立
- ②各学生が口座に預金
- ③個人が小口で決済する際にクレジットカードのような形でオートチャージシステムにして使えるようにします。
→その際、カードではなくだれもが持っているスマートフォンでも決済が行えるシステムにします。

このシステムによる決済が行える範囲は学内だけではなく近隣の飲食店・本屋などの学生が頻繁に利用する施設とも提携し、学生の利便性だけでなく、近隣経済の活性化も狙います。

さらに小口の決済は行わない学生に対しては、定期預金のようなかた提供し、通常の金融機関より高い金利をつけることで、よりもアルバイト代を貯めて、海外旅行や留学をしようとする学生が預金するメリットとなります。

また、提携する近隣の施設からはこのシステムに参加するための利用料をいただき、それを収入源にしようと考えます。

しかし、いきなり利用料をいただくことはできないと考えているため、このシステムを施行してから3か月ほど試用期間としてどれだけ利用頻度が伸びるのかといったこと調査したのちに、利用料を設定していけたらと考えます。

いいね！・コメントする・シェア



新提案内容

- ①大学内で学生を会員とした金融機関(信用金庫的な組織)を設立
- ②各学生が口座に預金
- ③個人が小口で決済する際にクレジットカードのような形でオートチャージシステムにして使えるようにします。
→その際、カードではなくだれもが持っているスマートフォンでも決済が行えるシステムにします。

このシステムによる決済が行える範囲は学内だけではなく近隣の飲食店・本屋などの学生が頻繁に利用する施設とも提携し、学生の利便性だけでなく、近隣経済の活性化も狙います。

さらに小口の決済は行わない学生に対しては、定期預金のようなかた提供し、通常の金融機関より高い金利をつけることで、よりもアルバイト代を貯めて、海外旅行や留学をしようとする学生が預金するメリットとなります。

また、提携する近隣の施設からはこのシステムに参加するための利用料をいただき、それを収入源にしようと考えます。

しかし、いきなり利用料をいただくことはできないと考えているため、このシステムを施行してから3か月ほど試用期間としてどれだけ利用頻度が伸びるのかといったこと調査したのちに、利用料を設定していけたらと考えます。

いいね！・コメントする・シェア



明治 太郎

①学生の間で普及が見込めるのか②提携施設が使用料金を払ってくれるのか、の2点について疑問に感じました。

まず①についてですが、現金による決済ではないという点で(提案内容にも記されていますが)クレジットカードに近い手段だと考えられます。

そこで、クレジットカードの普及率を見てみると、全体の所有率85,3%に対し、学生の所有率は45,3%と、非常に低い数値となっています。(出典は後ほど添付致します)

学生と社会人を単純に比較する事は早計であると思いますが、上記のデータから、学生は現金思考の傾向が強いと言...

11月16日 0:13・いいね！・6



明治大学 起業コンテスト スマホバンキング

更新

みなさんのコメントを受けページを更新しました。
引き続きご意見やご質問などよろしくお願いします。

いいね！・コメントする・シェア



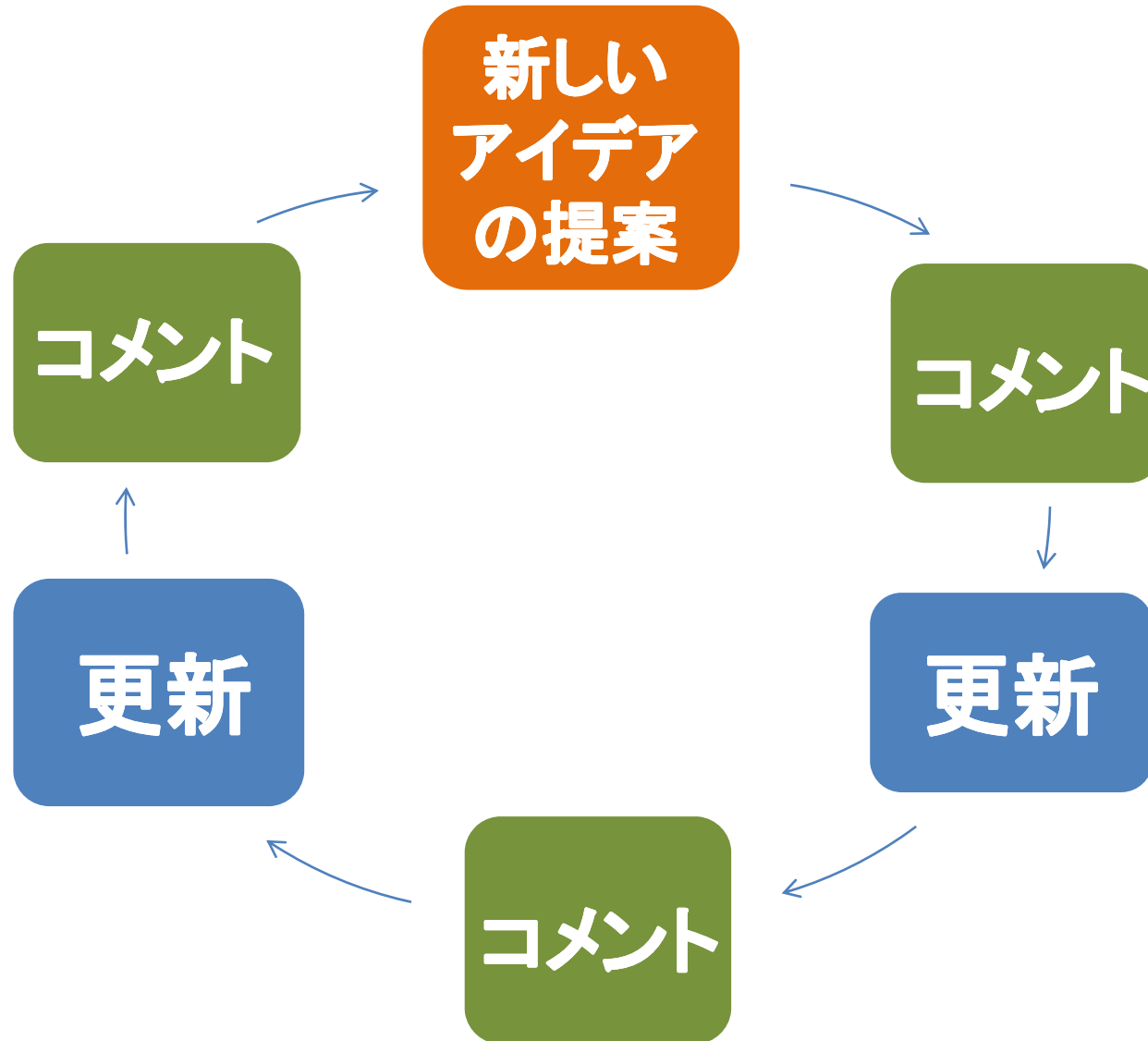
明治大学 起業コンテスト スマホバンキング

新提案内容

学生のインセンティブと、提供施設側のメリットとして、専用のアプリに広告スペースを設け、提供していただけるお店の広告や、クーポンを簡単に利用できるようにします。これにより、学生と加入店の双方のメリットとなります。

いいね！・コメントする・シェア

「アイデアの進化」

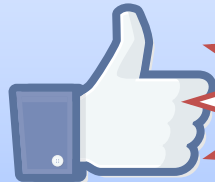


優勝アイデアの決定

明治大学 起業コンテスト 学生スマホ banking



大学
スマホBanking



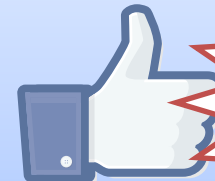
10 いいね!

VS

明治大学 起業コンテスト 天才塾



大学
天才塾



4 いいね!

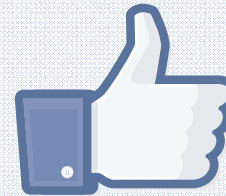
優勝



明治大学 起業コンテスト「学生スマホバンキング」

大学
スマホBanking

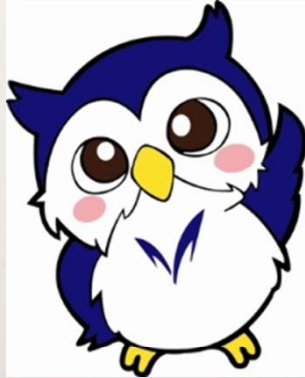
基本データ



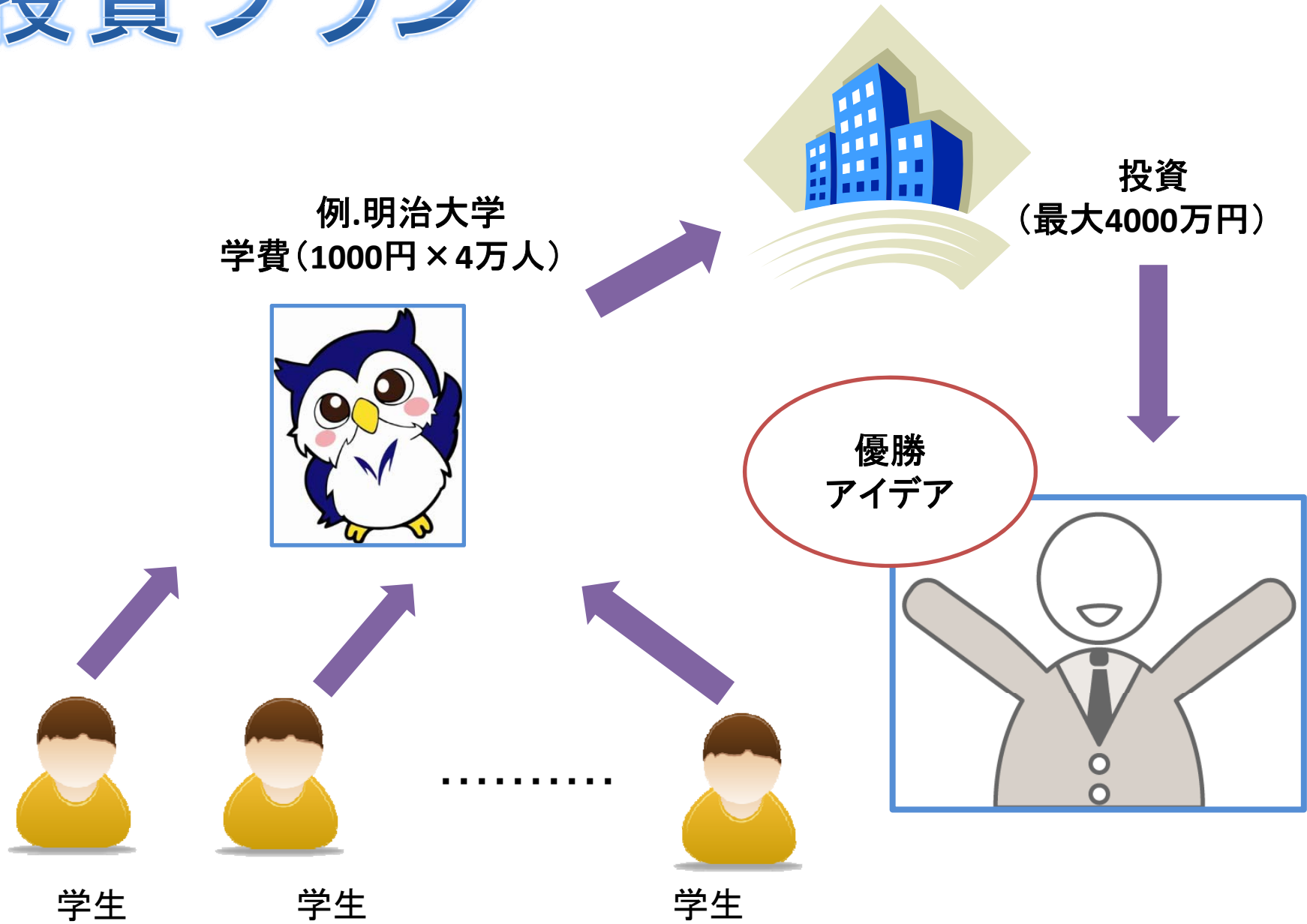
10

いいね

優勝おめでとう



投資プラン



投資に対するリターン

成功



投資した金額分の利益
=意見→大きなプラス



「起業できる大学」
としてブランド構築

失敗

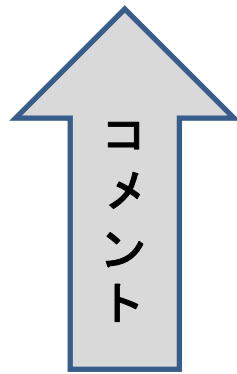


利益は得られない
=学費からの投資
→マイナスにはならない

意見に対するリターン



アイデア



コメント



「リターン」

コメントに対しても貢献度(順位付け)

貢献度の評価方法

- ①「いいね！」の数
- ②優勝者の評価

→順位に応じてリターンを与える



コメントすることの
インセンティブ

モチベーションUP!!



明治三郎

前回のコメントへの返信ありがとうございます。海外旅行や留学がしやすくなりそうですね。学生生活といえば、サークル活動も盛んだと思います。サークルは部費徴収や、団体によっては渉外活動も行っているため銀行口座を持つことが必須だと思います。個人の小口決済でなくても、そのような学生生活全体を支援してみるのはいかがですか？

11月14日 1:15 いいね！・3



明治四郎

既に意見が挙がっていましたが、統括組織についての情報が不足していると感じました。また、誰しもが持つスマートフォンによる電子決済とありましたが、学生なら誰しもが、学生証を持っていると思います。このことを決済の際に利用し、スマートフォンなどのITツールは、決済利用に対して、より付加価値をつける機能に特化した方がいいのではないかと思います。

11月14日 11:13 いいね！・4



明治太郎

①学生の間で普及が見込めるのか②提携施設が使用料金を払ってくれるのか、の2点について疑問に感じました。

まず①についてですが、現金による決済ではないという点で(提案内容にも記されていますが)クレジットカードに近い手段だと考えられます。

そこで、クレジットカードの普及率を見てみると、全体の所有率85,3%に対し、学生の所有率は45,3%と、非常に低い数値となっています。(出典は後ほど添付致します)

学生と社会人を単純に比較する事は早計であると思いますが、上記のデータから、学生は現金思考の傾向が強いと言えるのではないのでしょうか。

また、提案内容を見る限り、店舗での決済方法はスマートフォンに限られており、スマートフォンを所持していない学生は、サービスを受けられないと解釈できます。

類似サービスであるクレジットカードの普及率の低さ、決済手段が限定されている点から、まずは「スマホバンキング」を普及させるための手段を考える必要があるのではないのでしょうか。

次に②についてですが、果たして提携施設は利用料を収めようとするのでしょうか。会計時にスマホバンキングを利用してもらう事に、提携施設には何のメリットがあるのでしょうか。(利用者である学生には非常に便利な決済手段となりうると思いますが、佐藤貴文さんも仰っている様に、収益構造の再考が必要なのではないのでしょうか。)

11月16日 0:13 いいね！・6

コメント貢献度の決定



明治太郎

①学生の間で普及が見込めるのか②提携施設が使用料金を払ってくれるのか、の2点について疑問に感じました。

まず①についてですが、現金による決済ではないという点で(提案内容にも記されていますが)クレジットカードに近い手段だと考えられます。

そこで、クレジットカードの普及率を見てみると、全体の所有率85,3%に対し、学生の所有率は45,3%と、非常に低い数値となっています。(出典は後ほど添付致します)

学生と社会人を単純に比較する事は早計であると思いますが、上記のデータから、学生は現金思考の傾向が強いと言えるのではないのでしょうか。

また、提案内容を見る限り、店舗での決済方法はスマートフォンに限られており、スマートフォンを所持していない学生は、サービスを受けられないと解釈できます。

類似サービスであるクレジットカードの普及率の低さ、決済手段が限定されている点から、まずは「スマホバンキング」を普及させるための手段を考える必要があるのではないのでしょうか。

次に②についてですが、果たして提携施設は利用料を収めようとするのでしょうか。会計時にスマホバンキングを利用してもらう事に、提携施設には何のメリットがあるのでしょうか。(利用者である学生には非常に便利な決済手段となりうると思いますが、佐藤貴文さんも仰っている様に、収益構造の再考が必要なのではないのでしょうか。)

11月16日 0:13 いいね！・6

コメントに対する「いいね！」の数

→ 貢献度が高い → リターン

大

得られる効果

1. 起業が増えて、**日本経済の活性化**につながる！！
2. 「**起業できる大学**」に
3. **学生がより起業しやすい環境**に！



ご清聴ありがとうございました



MEIJI
UNIVERSITY